

第 2 9 回 藤枝市総合教育会議議事録

令和 7 年 5 月 3 0 日

藤枝市教育委員会

第29回藤枝市総合教育会議議事録

令和7年5月30日（金）
市役所西館3階 特別会議室

1 開 会 午前10時30分

2 協議事項

教育DX：本市のICT教育の更なる活用と深化に向けて

3 報告事項

第2期藤枝市教育振興基本計画（後期計画）の策定方針について

第3期藤枝市小中一貫教育推進計画の策定方針について

藤枝市子ども読書活動推進計画（第五次）の策定方針について

4 構 成 員

職 名		氏 名
市長		北村 正平
教育委員会	教育長	中村 禎
	委員（教育長職務代理者）	永田奈央美
	委 員	永田恵実子
	委 員	福與繁太郎
	委 員	渡邊 博文

5 出席した事務局職員	教 育 部 長	増井 孝典
	教 育 政 策 課 長	金原 雅之
	学 校 教 育 監	三須 貞佳
	主 席 指 導 主 事	道越 洋美
	生 涯 学 習 課 長	小西 ゆう子
	図 書 課 長	杉本 守
	総 務 係 長	目崎 真吾
	書 記	石川 聡美

5 傍 聴 者 0人

6 意見の概要 別紙のとおり

7 閉 会 午前12時

○市長あいさつ

本日は、第29回藤枝市総合教育会議にご参集いただき、感謝申し上げます。前回の総合教育会議でも申し上げたとおり、私は、本市の未来を担う子どもたちが健やかに成長することが本市の明るい未来につながると考えており、子どもたちがより充実した学びを得られるよう、また、誰一人取り残されず皆が豊かな学びに触れられるよう、これまでも様々な教育施策を展開してきた。今回は、平成29年度からスタートした、GIGAスクール構想におけるタブレット端末等の導入をはじめとした「教育のデジタル化」、その更なる活用と深化をテーマに皆さんと意見を交換したい。

今、教育現場では、急速に進化するデジタル技術の導入が進んでおり、その中でも特に「GIGAスクール構想」に基づく一人一台端末の普及により、これまでの教育のあり方が大きく変わってきている。ICTを活用した教育は、単に学習効果を高めるだけでなく、協働的な学びや創造的な思考を育む大きな可能性を秘めており、これからの時代において、子どもたちが社会で活躍するために必要なスキルを育むため、ICT教育はますます重要な役割を果たすことになるだろう。子どもたちがデジタル技術を安全に、そして効果的に活用できるようになるためには、単に操作技術を学ぶだけでなく、モラルについても同時に学ぶことが大切であり、そのためには学校だけでなく家庭も含めた一体となった取り組みが必要であろう。

今後も一層ICT教育を推進させ、子どもたちにとってより豊かな学びの場が引き続き提供されるよう、市としては不断の努力を重ねていく。本日は、限られた時間での協議となるが、皆さんからの忌憚のないご意見を伺いたい。

○教育長あいさつ

教育委員の皆様には、先日定例会にご出席いただいたことに引き続き、本日もお集まりいただき感謝申し上げます。

学校教育にICTが導入されたのは25年ほど前になるが、総合的な学習の時間が教育課程に導入された頃と同時期で、インターネットでの情報収集やパソコンの活用といったところが始まりである。その頃はまだ学校の中にインターネットとつながっている回線が事務室や図書室にあればいいという状況であり、その他には中学校の技術科の授業で取り入れられていた程度であった。当時の教育現場からすれば、黒船がやってきたかのような危機感を持ったのではないかと思う。2019年にGIGAスクール構想が閣議決定され、一人一台端末をもち、情報を取り込むだけではなく授業で活用しようとなったが、今では主体的で対話的で深い学びに欠かせないツールとなっている。藤枝市はいち早く整備に努めていたため、他市に比べて普及も早く、2023年には県教育委員会の池上教育長も青島北中学校に視察に来られるほどであった。今日はNEXT GIGAに向けてさらなる活用と深化に向けてご協議いただきたいと思う。様々な面からご意見をいただきたい。

○協議に関する意見

教育 DX：本市の ICT 教育の更なる活用と深化に向けて

市 長	今回の議題である教育 DX についてであるが、私は、以前からこれからの子どもたちには ICT を活用した教育が必要であると考えてきた。国が GIGA スクール構想を打ち出すよりも早く、教育現場にタブレット PC を始めとした多くの ICT 機器を導入してきた。タブレット PC を積極的に利用する授業により、子どもたちの ICT 機器に対する関心が高まるとともに、機器への苦手意識も減少していると思う。教育現場も含めた世の中全体が、急速にデジタル化、ネットワーク化していく中、昨年度から国は、ギガスクール構想の一層の加速のため、新たな事業や補助制度を打ち出してきている。本市ではこれを活用し、子どもたちのタブレット PC を、スマートフォンのようにどこでも利用できるものに更新するための準備を進めている。ただ、ICT 環境とその機器は、あくまでも学びを補助するツール・手段であり、本市の子どもたちが豊かな学びを得、また、誰一人取り残されないよう、学びの環境を構築することが目的である。昨今話題となっている生成 AI も含め、これらの目的実現のための効果的なツールを、モラルを持って使いこなす力が、これからの社会で求められると考えている。本日は、教育 DX、ICT 教育の現状と課題を改めて整理し、本市の次のステップ、タイトルにあるような「活用と深化」に向け、どのような方向性で、どのように進めていくべきか、忌憚のないご意見をいただければと考えている。 本市ではこれから機器の更新だけでなく、ICT 活用の専門的な知見を学校現場へ浸透させる仕組みを構築するなど、より ICT 教育を推進していきたいと考えている。専門的な知見を得るため、産学官連携について事務局は提示しているが、それはもちろんのこと、本日ご出席の皆様からもご意見をいただき、より深い学びにつなげられるような仕組みとなることを期待している。
永田奈央美委員	当初の OS を Windows にした理由は何か。
事 務 局	他市より先に導入していたが、当時は Windows の方が一般的だったので Windows を導入していた。令和 2 年の GIGA スクール構想導入時には Chrome が主流となっていた。軽くて安いということで Chrome Book が GIGA スクール構想に合った端末であった。
永田奈央美委員	Windows から Chrome へ変更した理由は何か。
事 務 局	端末の更新にむけて教員から現在の端末についての子どもたちの感想を収集した結果、通信速度が遅い、壊れやすい、重いという問題点があった。また、他市の教員と情報共有する際に OS を同じにすると情報共

有しやすいということもある。OS の変更について、子どもたちへの影響も考えられたため、1 週間程度 Chrome を使用してもらったが、子どもたちは大人が思っている以上にスキルがあり、OS による差を感じさせなかった。そういった理由により、Chrome に変更することに決定した。

市長 変更することによるデメリットはあるのか。

事務局 Chrome に変えても同じような機能は使えるものの、教員は Windows に慣れてしまっているので、負担になってしまうことが考えられる。また、新しい端末では、スマートフォンなどと同様にどこでも使用できる通信環境を整える必要があると考え、LTE 回線を使用できる端末を独自で調達しようと考えている。

市長 さまざまなソフトウェアをすでに導入していると思うが、影響はないのか。

事務局 Chrome に変わっても影響はないと考えている。さまざまなソフトウェアを導入してきたが、使用する教員が限られているという課題があるので、どの教員も活用するように進めていきたい。

永田奈央美委員 当初 Windows にしたのは、社会に直結しているというのと、現場の教員がマイクロソフトの Word、Excel、PowerPoint を使って教材を作っているからだと思う。OS をどちらにしたから何ができないというわけではないので、ソフトウェアの面からするとどちらでもいいのではないかなと思う。しかしながら、Windows にしたために他市のノウハウを吸収することができないという例があったと聞いたので OS が同じになることで情報共有もしやすくなる。Chrome Book の中では教材を共有しようという取り組みもあるので、他市の生成 AI を活用した教材も簡単に取り入れ教育を深化させることができると思う。

今の藤枝市で問題となっているのが、学校間の格差があることだと思う。高洲南小学校や藤枝中学校では積極的に活用しているが、ほとんどタブレットを使用しないという学校もあると聞く。すべての学校で ICT を活用していこうという中身の部分も整備していく必要があると思う。

Chrome になっても Windows と同様にソフトウェアを入れる必要があるかという点については、藤枝市は他市に比べて数多くのソフトウェアが入っていて、機能が重複してしまっているものがある。そうすると教員の好みによって使うソフトウェアが分かれてしまい、情報共有がしにくくなってしまっている。個別最適な学習を促進するためのソフト

	ウェア、協働的な学びを促進するためのソフトウェア、それらの学習履歴を可視化することができ、教員と子どもたちが自身の得意不得意を把握しながら学習することができるソフトウェアの3つのソフトウェアに焦点をあてるべきと考える。
市 長	学校間の格差についてはどうか。
事 務 局	学校によって温度差があった。異動によって刺激を受けて取り入れるということもあるにはあったが、格差は確かにあると思う。
市 長	Chrome に変えて、これからもっと活用していこうと進めていけば、できるようになるものなのか。
事 務 局	教員の研修組織、教育研究会に情報教育部というものがある。各校の情報担当がそこで ICT の活用に向けて強力に進めていくようにする。
市 長	今回大切なことはまず体制を整えることだと考える。 ソフトウェアについてはどうか。
事 務 局	永田奈央美委員の意見のとおり、かなり多くのソフトウェアを提供したことで混乱を招いてしまった面もある。産学官連携し、NEXT GIGA 活用推進委員会で協議して、ソフトウェアの選別をしていきたい。
市 長	機能が重複しているソフトウェアを、一つに統一することによって問題は出ないのか。
永田奈央美委員	データもバラバラな場所に保存されてしまうので、一つに統一した方がいい。
事 務 局	本年度 NEXT GIGA 活用推進委員会を立ち上げ、教員の意見を伺いながら効果的なソフトウェアを選定し、情報担当の教員と話し合いながら学校に落とし込んでいく
市 長	NEXT GIGA 活用推進委員会は教員のみなのか。
事 務 局	校長の代表、教頭の代表、情報担当の教員や ICT 教育が得意な教員、ソフトバンクから出向している職員、教育委員会事務局職員、さらに大学教員にも入っていただく予定。
市 長	永田奈央美委員も NEXT GIGA 活用推進委員会に入るのか。

事務局	ご協力いただけるのであればお願いしたい。
市長	得意な教員だけでなく、不得意な教員も入れてほしい。
永田奈央美委員	得意な教員というのは、若手の自分の授業に ICT を取り入れているような教員のことか。
事務局	そのとおり。
永田奈央美委員	現場でどのように活用されているのかの事例がたくさんあって、そういったものが蓄積されていくといい。 高洲南小も藤枝中も、2人ずつ得意な先生がトップを走っているので学校全体が活用できている。その教員は NEXT GIGA 活用推進委員会に入っていていただくべきだと思う。
市長	教員のなり手が減っているという問題について、ICT 分野に関して負担感を感じ、敬遠するという人もいるようだ。その負担感を減らせればもっと教員になりたいという人も増えるのではないかと考える。誰もが学び、活用できるような雰囲気にしていきたい。
永田恵実子委員	「多様な特性を持つ児童生徒の学びを支援」について、ICT を活用してもらえたらと思うことがある。ADHD の子は目立つのですぐに対応してもらえるが、読むだけが苦手、書くだけが苦手、算数が苦手、推測することが苦手というように局所的に苦手なものがあり、目立たない SLD のような子どもたちは言いにくい、見つけにくい子どもたちといえる。そのような子どもたちは苦手なこと、困っていることが言い出せず、また見つけてもらえず、不登校につながってしまうことが多々ある。そういう子どもたちへの授業法の研修をして、言い出しにくい子どもたちを、タブレットなどを使ってすくい出していきたい。例えば引き算や足し算が苦手という子どもに、電卓を使ってもいいよという言葉をかけるとか。教育の現場ではどこまで端末を活用していいのか判断が難しいので、教員の研究が必要になると思うが、こういう限局的な障害があるということを教員にわかってもらえると、不登校の阻止につながるし、将来的にタブレットやパソコンが「その子にとって使えるもの」になるので安心して学びにつながると思う。また、個別多様ではあるが、個々の事例を公表することで目立たない障害の子をすくい上げることができるのではないかと思う。そういった事例を挙げるといいのではないかと思う。

市 長	発達障害の子にも ICT 教育は効果があると聞くが、どのように効果があるのか。
事 務 局	学校現場で授業をしていた時、特別支援学級の子どもたちは、言葉を発することが苦手な子もいれば、字を書くことが苦手な子もいた。みんなで一斉に同じように紙で記入するということができない子どもたちでも、紙に書くことでもタブレットに入力することでもいいというようにしたら、どの生徒も生き生きと自分の思いを表現することができたので、ICT 教育の効果を実感している。
市 長	様々な障害があり、子細にわたると思うが、そういったことも NEXT GIGA 活用推進委員会では話し合われるのか。
事 務 局	そのとおり。ICT 教育は特別支援教育に一番効果があると考えられており、国や県の方向性で、特別支援教育には読み上げをする、ルビを振る、図解をする、というような生成 AI を活用するという流れになっていくと思われるので、様々な情報を共有しながら、子どもの特性に合った特別支援を実現していきたい。また、その際には永田恵実子委員のお力を借りしたいと考えている。
市 長	特別支援学級の子どもたちは特別な端末やソフトを使っているのか。
事 務 局	共通しているものもあるが、特別支援学級の子どもだけが使っているソフトもある。端末の形自体は同じ。
教 育 長	特別支援教育に効果があるというのは、学校で教育する際に学びが入りやすいということと、学校を出たときに端末を使うことで他の子と同じように理解ができる、生活ができると子ども自身に身についていくことだと思う。 NEXT GIGA 活用推進委員会のメンバーの中にも、特別支援教育で活用したいという教員も入って検討していくべきだと思う。
市 長	特別支援で ICT を活用することで学びの補助を進め、取りこぼさない教育を進めてほしいが、ICT を使いこなして何でもできるというところがった教育の方面も進めていってほしい。
事 務 局	産業大にはハイスペックのパソコンを置いてある教室が多数あり、産業大側からも活用への提案をいただいた。また、プログラミング教室などもその場所で行えば、子どもたちはさらなる高みを目指すことができるのではないかと思う。学生に教えてもらうことも子どもたちにとって

		てはいい影響を与えると考える。助言をいただき、場所を提供していただければと思う。
市	長	学校現場で一律で行うにあたり、やはり苦手な人間もいると思うが、ある程度のスキルは身に付けてもらわないといけない。子どもの方が圧倒的におぼえるのが早いので、教員には頑張ってもらいたい。
福	興 委 員	底上げについて、効果的な事例を共有するとありましたが、先進的な事例はとても重要だが、そればかりだと苦手な人はできなくなってしまう。授業の特定の場面でこういう使い方をしたよ、というような事例や、こういう使い方をしたらうまくいかなかった、というような事例も共有してもらえると苦手な人には敷居が低くなると思う。
市	長	学校によってはパソコン部というものもある。先生に教えてしまう子どもを育てるような、とがった教育を進めてもいいのでは。
事	務 局	児童生徒の方が詳しく、教員より詳しいという例は実際にあると思う。子どもたちのスキルはとても高く、とても驚かされる。そういった子どもたちにとがった教育が必要だと思う。得意な子はどんどん伸ばして世界的に活躍できるような能力を磨いていくことは必要だと思う。一方で、授業についていくことが難しい子どもが、少しのアイデアで変わり、できるようになるということもある。そのあたりのバランスをしっかりとっていきたい。
事	務 局	特別支援学級だけでなく、だれにでもわかりやすく、通常級でもわかりやすい使い方を考えていきたいと思う。
渡	邊 委 員	教育委員になり、学校の現場を視察させていただき、ICT 教育で児童生徒が楽しそうに活用している現場を見て衝撃を受けた。また、学校によって格差があるということにも衝撃を受けた。子どもに対する教育の権利を奪ってしまっているのではないか。子どもたちの未来へのつながりを閉ざしてしまうので、教員の得意・不得意とか言ってはいただけない。しかしながら、ここに差があるのは事実なので、それを組織でカバーする必要があると思う。数値目標を立て、可視化してみてもどうか。ソフトの活用率を出して互いに競い合うとはいかなくとも、チェックすることが大切だと思う。また、その先に何があるのか、デジタル化によるメリットを明確化にし、共通の目標として教員全員で認識することが自己改革につながると思う。
市	長	子どもたちの中でも ICT が苦手という子はいろのか。

渡 邊 委 員	スポーツや勉強と同じで ICT が苦手という子はいると思う。でも、視察の時は和気あいあいと助け合いながら進めていたように思う。
市 長	ICT も楽しいと感じるように使っていかなければならない。
教 育 長	子どもたちがどういった授業を望んでいるかという調査があり、子どもたちは知識を得るインプット型を 20 %、自分の思いや考えを表現するアウトプット型を 80 %の割合で授業をやりたいという結果であった。ICT は意見を交換したり、みんなに発したりという場面で効果的。授業の流れとして良好で、子どもたちからの反応もよく、授業でこうやって使うとこういう効果があったという事例を共有できたらいい。また、クラブでやっているような講座なども産業大を使わせてもらえたらいいと思った。

○報告事項に関する意見

第 2 期藤枝市教育振興基本計画（後期計画）の策定方針について

質疑	なし
意見	なし

第 3 期藤枝市小中一貫教育推進計画の策定方針について

質疑	なし
意見	なし

藤枝市子ども読書活動推進計画（第五次）の策定方針について

質疑	なし
意見	なし